

# 木洩れ陽

第46号 令和2年9月27日

発行：大阪府介護者（家族）の会連絡会

〒542-0065 大阪市中央区中寺 1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

Tel 06-6762-9473 FAX 06-6762-9487

## ◆総会（書面審議）開催 新会長に浅野 安希子氏（大阪狭山市・会長）◆

### 【総会（書面審議）】

総会（書面審議）において、新役員が選任されました。

新体制のもと、関係機関との連携を強化しながら、引き続き、誰もが安心して気軽に集うことのできる“居場所”づくりやゆるやかなネットワークづくり、また、府内介護者（家族）の会の周知・啓発を通じた各会の活動の活性化に取り組んでいきます。

皆様のご協力よろしく申し上げます。



### 【新会長：<sup>あさの</sup>浅野 <sup>あきこ</sup>安希子さん（大阪狭山市）】



長い介護者家族の会の歴史の中でも今年は今まで経験した事のない大変な年で、寄り添う事を目的としております当会としましては本当に心苦しい思いをしております。身を寄せて集う事が厳しくなっておりますが今まで以上にそれぞれがしっかり心を添えて支え合っていかなければなりません。

そして、一人でも多くの方が、介護者（家族）の会があって本当によかったと思っただけのよう皆で知恵を出し合って、できることを精一杯頑張るしかないと思っております。

何分未熟な会長ではありますが何卒よろしくご協力の程お願い致します。



### ～総会（書面審議）結果報告～

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、総会を書面審議にて行いました。議案審議につきましては、全会一致で承認されました。

#### 議 案 審 議

- |       |       |             |
|-------|-------|-------------|
| 第1号議案 | 令和元年度 | 事業報告（案）について |
| 第2号議案 | 令和元年度 | 収支決算（案）について |
| 第3号議案 | 令和2年度 | 役員改選について    |

## 令和2年度 新役員よりごあいさつ

### 【副会長・<sup>かしわで</sup>膳 <sup>としお</sup>俊男さん(高槻市)】

私は「家族の会」に25年前入会、要介護者の実母が逝去後、役員として活動し17年が経過します。この間、介護政策は、2000年の「介護保険制度」創設を境に大きく変化し、漸次それまでの「家族の会」の役割や存在意義も変容してきました。加えて各「家族の会」においても、会員の減少、役員の高齢化等の問題が顕著化しており、より介護者に密着した介護活動のためには、この問題を改めて共有し、原点に戻って問うていくべきだと考え、今期はこの観点から活動推進に協力をしていきたいと考えています。

よろしく願い致します。

### 【副会長・<sup>きたもと</sup>北本 <sup>よつこ</sup>洋子さん(大東市)】

大阪府介護者(家族)の会連絡会も結成から20年以上経ちました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により社会活動も大きく変動しています。当たり前の日常は、決して当たり前ではないことに気づかされました。家族の会の活動も視点を変えることが必要です。コロナ禍において家族の会が果たす役割とは。

会長はじめ新役員の皆さまと力を合わせ前向きに取り組んでいきたいと思えます。

### 【幹事・<sup>やまもと</sup>山本 <sup>かすみ</sup>一美さん(岸和田市)】

岸和田市介護者家族の会「みずの輪」は、今年23年目を迎えました。

現在会員数85名ですが、私を含め会員の高齢化が問題です。私たち自身の老後の不安が解消できるような集いを今年度企画しています。

コロナ禍で活動休止していましたが、閉じこもりによる体力、気力低下の話があり、6月からは3密に注意しながら開催しました。皆さん笑顔で参加され、人と触れあい学ぶことの喜びを感じました。

今後、感染に気を付けながら交流の場をつくっていききたいです。

### 【会計監査・<sup>かとう</sup>加藤 <sup>じゅんこ</sup>順子さん(島本町)】

介護者家族の会に入会し10余年になります。入会前に、突然の介護で右往左往し

た経験があるので、気軽に話せて聴いてくれる人がいることの有難さを痛感しました。

キーパーソンになった人は、何かにつけてしんどさと向き合わねばなりません。

介護で孤立しないために、身近にある介護者家族の会を訪ねていただくことを希望します。新しい仲間が増えると会の活性化につながります。

今後ともよろしく願いいたします。

### 【会計監査・<sup>だん</sup>檀 <sup>ひでこ</sup>秀子さん(泉大津市)】

泉大津市介護者家族の会は平成3年2月に結成され、当初10数名の会員でしたが、現在は82名になりました。年間の主な活動は、会員のつどい、リフレッシュのつどい、介護講座、民生委員等との交流会を行っています。

私は今年5月から会長に就任し、重責を感じている日々を過ごしていますが、私の思いは目、耳にアンテナを立て、みなさんが喜んでいただける活動を増やし、少しの時間でも介護の疲れを癒していただくことです。府の役員としても精いっぱい努力してまいりますのでこれからどうぞよろしくお願い致します。

### 【会計・<sup>やまなか</sup>山中 <sup>てるみ</sup>輝美さん(河南町)】

大阪府においては、新型コロナウイルスの感染防止のため、イエローステージ(警戒)の対応方針に基づく要請が発表されており、地域の活動が制限されています。当会でも多くの行事が自粛されみなさんは外出を控え、友だちと話す機会も少なくなっています。自宅で過ごす時間が長く不安や孤独感で体調を崩す方も見受けられました。

会員のみなさんに役員が手分けをして電話を中心に安否確認を続け少しでも安心を届ける取り組みを行っています。

コロナ禍のときに本部役員として微力ながらお受けすることになりましたが、何分行き届かない点が多々あると思えますので、よろしく願い致します。



## 会員活動紹介



### 【高槻市介護者家族の会】

高槻市介護者家族の会は平成5年2月に発足し、今年で27年になります。新型コロナウイルスの影響を受け、3月以降の活動はすべて休止しています。そんな中でも、会としてできることは何かということを考え、先日発行した機関紙で、会員さんの「コロナ禍での過ごし方」の記事を掲載しました。皆さんがどのように過ごしておられるのか、一例をご紹介します。

- ▼手縫いでマスクを作成して過ごした
- ▼毎日1時間程度のウォーキングを習慣にした
- ▼自宅で、NHK「みんなの体操」高槻市の「ますます元気体操」をして過ごした
- ▼断捨離、不用品の片づけをして家の中の整理した
- ▼買い物の回数は3~4日に1回にし、土日を避けるようにした



コロナ禍で今までできていたことができなくなり、不安な日々を過ごされていると思います。特に現役会員の方は、日常の「介護」にコロナ不安が加わり、新たな介護の知恵についての意見を期しましたが特にはありませんでした。

それぞれの立場・環境で、皆様の過ごし方を参考に、一緒に乗り越えましょう。

### 【大東市介護者家族の会「サルビアの会」】

サルビアの会は、大東市民を対象とした“ふれ愛サロン”を年5回開催しています。しかし今年はコロナ禍のため4月の“ふれ愛サロン”を中止しました。5月の総会もいつもなら多勢の来賓・会員の皆さまの出席がありますが、今年度は書面審議による総会としました。続いて、8月も収束のめどはたたずやむなく中止することにしました。

“ふれ愛サロン”のかわりに会員の方の心身の健康状態のアンケートをとることにしました。返信のハガキにはアンケートと近況や困りごとなども記入していただきました。

返信のハガキを読んでいると会員の皆さまのお気持ちがひしひしと伝わってきました。ハガキを読み、気になる方には電話訪問し、お話を聞きました。必要な時には地域包括支援センターにつなげていこうと思っています。会員の皆さまには以前のように集まってもらうことはできませんが、何かでつながっていることが大切です。

今しばらくはこの状態が続くでしょうが、また新しい活動のあり方を模索しながら会えなくても寄り添い手を差し伸べていきたいと思っています。



# 情報コーナー

## ブロック交流会のお知らせ

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から直接集まっての交流会は各ブロック行いません。

楽しみにされていた皆様にはたいへん申し訳ございませんが、ご理解のほど、お願い申し上げます。

各ブロック、例年とは違う形での交流会を予定しております。詳細はブロックごとにご案内いたします。



## 令和2年度第1回役員会を開催しました

令和2年7月31日(金)、新しい役員で初めての役員会を開催し、今年度の運営方針について協議を行いました。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、直接会っての活動が制限される中、ブロック別交流会、全体活動交流会のあり方について議論しました。

直接会って集まれなくても、この連絡会として、府内各会のつながりを絶えさせないようコロナ禍ならではの特別企画を計画することとなりました。

詳細は追って各会事務局あてに連絡いたします。お楽しみに！

つながりを絶やさず  
みんなでコロナ禍を  
乗り越え  
よう！！

